



2014年7月15日

発行者:日本ろう者テニス協会

取材/編集:尾形スタッフ

- さらに試練は続く - 第4日目

〈一日の流れ〉

6時～ 朝食

7時 ホテル出発

8時～13時 試合

14時～16時半 練習

17時 テニスコート出発

18時～夕食

21時～ミーティング

ホテルからテニスコートの往復は、タクシーを利用しています。しかし、タクシーは日本のように約束通りの時間に来ません。予約を置いていても、タクシーがホテルの玄関に来るまで安心できません。本日のチャタヌーガの天気は曇りで、昨日までのムシムシしてさらに焼き付くような暑さが嘘のように涼しい一日でした。

昨日の試合の反省を踏まえ、男子は台湾戦、女子はスペイン戦に臨みました。
結果と、選手・コーチのコメントを紹介します。

● 試合結果

[男子] vs 台湾 1勝2敗

シングルス1: ●榛地英征 vs ○Chun-Wei 0-6, 0-6

シングルス2: ○鈴木裕将 vs ●Wei-Che 6-1, 6-2

ダブルス: ●榛地英征 & 鈴木裕将 vs ○Chun-Wei & Wei-Che 1-6, 2-6

[女子] vs スペイン 0勝3敗

シングルス1: ●豊田恵子 vs ○Beatrix 0-6, 1-6

シングルス2: ●龍野由佳 vs ○Raquel 0-6, 0-6

ダブルス: ●豊田恵子 & 龍野由佳 vs ○Beatrix & Raquel 0-6, 0-6

●コメント

■男子

都丸直樹

今日は試合出ない代わりに男女の試合が全て終わるまでずっと動画撮影しました。男子の台湾戦は1ー2で敗戦になりましたが、1勝挙げただけでも嬉しかったです。

明日は女子のみ試合があるので、全面的にサポートしながら応援します！

榛地英征

今日は台湾との試合でした。シングルス、ダブルスともに負けてしまいました。勝ちたい気持ちが強すぎて、単調なテニスになってしまったのが課題です。次の試合では勝つためには何が必要なのか見極めるために、色々工夫をしながらテニスをしたいと思います。

鈴木裕将

今日は台湾戦でシングルスに出場しました。内藤コーチと作戦を実行し、自分のプレーを最後まで続けた結果、初勝利しました。個人としては目標の一つが達成できて嬉しいですが、チームが負けてしまったのが、とても残念です。世界の厳しさを思い知った一戦でした。

試合で悪かった点を明日の練習でしっかり改善してレベルアップにつなげられるように頑張ります。

■女子

豊田恵子

スペインとの初対決は、シングルス・ダブルスともにストレート負けでした。シングルスの相手は190cmの長身で、丁寧なプレーをし、特にリターンとアングルショットの返球に苦心しました。とにかくこちらも丁寧に返球することを意識しましたが、なかなかタイミングを合わせることができず、2セット目でようやく1ゲームだけキープすることができました。

ダブルスは昨日と同じく1ゲームもとれませんでしたが、プレーに集中することができましたし、龍野さんが50cm近くある身長差のペア相手にボレーやリターンエースを決めてくれました！これは私達ペアにとって決して小さくない一歩だと思いました。

明日はインドです。No.1の選手は昨年のデフリンピックで混合ダブルスで負けた時の相手です。台北のH0選手同様にボールが速いので、いかにタイミングを合わせるかに重点を置いてプレーをしたいです！

龍野由佳

本日はスペインとの対戦をしてきましたが、シングルスとダブルスと共に負けてしまいました。昨日の試合内容のみならず反省をふまえて、シングルスに挑みましたが…思うように体が動かずミス連発してしまい、自己嫌悪になりました。

しかし、ダブルスではシングルスでのミスをした理由を整理し、同じ過ちをしないよう挑みました。おかげで、動きがこれまでより良くなりボレーが決まり、スマッシュを防いだりすることができました。

この調子で、明日の対戦では同じ過ちを犯さないよう気をつけていきたいと思います。

尾形滋子

今日は女子のスペイン戦のベンチコーチに入りました。

スペインもまた強豪国です。シングルスでは、辛抱強くつなげることをテーマに試合に臨みました。最後は決められてしまっても、ラリーをつなげることができたのはよかったです。ミスをしてしまう、という流れをいかに修正できるかが重要なポイントだと思いました。技術的な面、気持ちの持ち方の面で的確に助言する難しさを痛感しました。

試合中での修正はできませんでしたが、シングルス終了後、試合中のミスとその原因・対策を紙に書き出して整理するよう伝え、次のダブルスではミスの修正が出来ていた面はよかったです。明日のインド戦は、内藤コーチがベンチコーチに入ります。内藤コーチのコーチングを見て勉強します。

■コーチ 内藤公広

今日は男子の台湾戦にベンチコーチで入りました。

勝つことの難しさを痛感することになりました。

特に男子は国際経験の無い若手、日本での経験でしかテニスの尺度が計れていません。

ポテンシャルで負けているとは思いません。しかし、世界と戦ってきた選手に、実力の高い人達との戦いや練習を数多く経験している選手と対峙した時、その差を覆すだけの思いきりが出せませんでした。

日本で勝てる方法で世界に挑んでいるように見えました。

作戦を与えて、今までの習慣を抜け出せず作戦を実行出来ずにいたと言うのが感想です。

この経験はとても貴重な経験だったと思いますが、世界のレベルと戦うためには、今までのテニスを練習を意識を環境をそれぞれ1から見直す必要があると感じます。

今はとても残念な気持ちでいっぱいですが、スクラップ＆ビルド一度全てぶち壊して作り直す良い機会として、この大会ではぶち壊れて、壊れながらどう再建していくか？を世界のトップ選手と戦いながら、見ながら聞きながら、新しい突き抜ける可能性の持った選手に近づいてほしいと思います。



台湾チームと試合



スペインチームと記念撮影